



環境経営レポート

(対象期間：2023年7月～2024年6月)



作成日： 2024年7月2日



③環境省
エコアクション21
認証番号 0008980





ごあいさつ

株式会社ウエムラは、空間を演出するディスプレイ技術を通じて社会に貢献しています。私たちは常に能力を開発し、社会的地歩の確立に努めながらも、地球環境に優しいディスプレイ技術の展開をすることによって、ディスプレイに新しい価値を生み出し独創性を重んじた提案型企業として一歩ずつ進みたいと思っています。



環境経営方針

<基本理念>

株式会社ウエムラは、地球環境保全が地球全体のための重要課題であると認識しディスプレイ業において、積極的に地球環境保全の向上に取り組みます。

<環境保全への取り組み>

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを順守します
2. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます
 - ❖ 電力及び燃料の二酸化炭素排出量の削減
 - ❖ 廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進
 - ❖ 水道水使用量の削減(水資源の保全)
 - ❖ 自社の事業活動の中で、地球環境にどのように貢献できるかを推進します
 - ❖ 環境に配慮した製品の企画・開発を推進します
3. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します
4. この環境経営方針は、全従業員に周知・徹底します

株式会社ウエムラ

代表取締役社長 上村 豊

制定日：平成25年1月24日

改定日：令和 1年6月10日





組織の概要

- (1) 名称及び代表者名
株式会社ウエムラ
代表取締役社長 上村 豊
- (2) 所在地
大阪府大阪市此花区島屋3-1-10
- (3) 環境管理責任者氏名及び連絡担当者
環境管理責任者 企画開発部 福谷 勝之
連絡担当者 総務部 青木 恵美
- (4) 事業内容
ディスプレイ業 全般
- (5) 事業の規模
製品出荷額 776 百万円(2023年度)
- | | |
|-------|-------------------|
| | 本 社 |
| 従業員 | 21名 |
| 延べ床面積 | 594m ² |
- (6) 事業年度 7月 ～ 6月

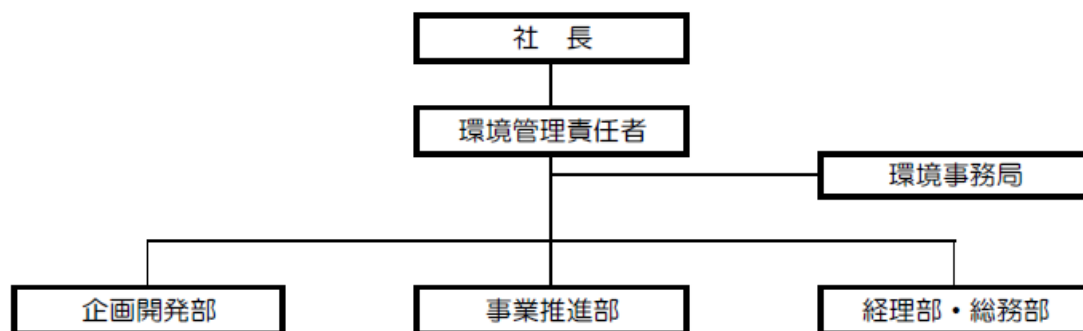


認証・登録の対象組織・活動

- (1) 登録組織名 株式会社ウエムラ
- (2) 活動 ディ스플레이業 全般
- (3) 所在地 大阪府大阪市此花区島屋3-1-10
- (4) 対象外 なし



実施体制図





主な環境負荷の実績

項 目	単 位	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量 CO ₂ 排出係数 0.493	kg-CO ₂	26,070	32,575
一般廃棄物排出量	kg	868	1,158
産業廃棄物排出量	m ³	244	240
水使用量	m ³	176	181



環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準値	2023年度		2024年度	2025年度
		(基準年度)	(目標)	(実績)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素 排出量削減	Kg-CO ₂	13,809	13,670	13,794	13,532	13,394
	基準年比	(2022年度)	99%	100%	98%	97%
都市ガスの二酸化炭素 排出量削減	Kg-CO ₂	195	193	188	191	189
	基準年比	(2017年度)	99%	96%	98%	97%
自動車燃料の二酸化 炭素排出量削減	Kg-CO ₂	12,066	11,945	18,593	11,824	11,704
	基準年比	(2022年度)	99%	154%	98%	97%
上記二酸化炭素排出量合計 Kg-CO ₂		26,070	25,808	32,575	25,547	25,287
一般廃棄物の削減	Kg	868	859	1,158	850	841
	基準年比	(2022年度)	99%	133%	98%	97%
産業廃棄物の削減	m ³	244	241	240	239	236
	基準年比	(2022年度)	99%	98%	98%	97%
水使用量の削減	m ³	176	174	181	172	170
	基準年比	(2022年度)	99%	103%	98%	97%
環境に配慮した 生産活動	資材再利用 案件	2,519万円	2500万円	2,436万円	2600万円	2700万円
		(2022年度)		97%		

電力による二酸化炭素排出係数：0.493kg-CO₂/kwh
(2016年関西電力調整後、排出係数)





環境活動計画と結果及びその評価、次年度を取組内容

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

環境活動計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
電力による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	×	—	毎年のことだがやはり気候による影響が大きく、まだコロナによる換気の影響も大いにあると思われる。累計的には目標達成できていないが月別でみると達成月も多いので、このまま努力していきたい。
・空調温度の適正化（冷房28℃ 暖房20℃）	△	継続	
・不必要な電気の消灯	◎	継続	
・生産工程の待機時間短縮	○	継続	
・夜間・休日はP C、プリンタ等の主電源を切る	◎	継続	
都市ガスの二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	○	—	給湯器でのみガスを使用しているので最低限の使用量である。これ以上の削減は、社員数が減らないとなかなか難しいかと思われる。トータルで目標達成できているので、このまま継続していきたい。
・温水温度の適正化	○	継続	
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減			
数値目標	×	—	売上が完全に戻り、従業員も増え、車を使う現場が増えた為ガソリンの使用量が大幅に増えたと思われる。目標達成がひと月もできていない為、来期ではもっと頑張りたい。
・アイドリングストップ	○	継続	
・効率的なルートで納品	○	継続	
・急発進、急加速の抑制	○	継続	
・荷重の軽減	×		
一般廃棄物の削減			
数値目標	×	—	売上や従業員の増加とともに、ゴミの量も全体的に増えている。今後も分別をしっかりとしミスコピーや必要のない資料の印刷など控えるように呼び掛けていきたい。
・分別の徹底	◎	継続	
・シュレッダー廃紙のリサイクル化	○	継続	
・裏紙使用	△		
産業廃棄物の削減			
数値目標	○	—	トータルでは目標をクリアしているのでこのまま継続していきたい。
・作業ミスによる廃棄物増量を減らす	○	継続	
・部材の再利用	○	継続	
・鉄くずのリサイクル	×		
水道水の削減			
数値目標	×	—	全体的に使用量が増えている。従業員の増員によるものと思われる。
・節水シールの掲示	○	継続	
・節水レバーの取り付け	○	継続	
・漏水の定期点検	○	継続	
製品への環境配慮			
数値目標	×	—	今年から新しく不要になったコスメを回収しクレヨンやキャンドルに再利用するイベントを開催しました。このようなイベントをもっと企画提案していきたい。
・資材再利用案件の受注	◎	継続	
・古着回収イベント	◎	継続	
・下水道展の施工	◎	継続	
・コスメ回収リサイクル	◎	継続	





環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物
消防法（危険物）	シンナーの保管（指定数量の1/5未満）
フロン排出抑制法	業務用空調機
家電リサイクル法	冷蔵庫・エアコン

環境関連法規制等の遵守状況の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、関係当局よりの違反、訴訟等の指摘は、過去3年間ありませんでした。



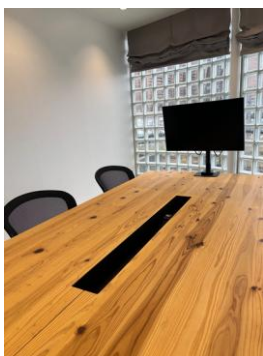
代表者による全体の評価と見直し・指示

コロナの影響により激減した売上が、完全にもどりました。

それに伴い、一般廃棄物・産廃等が増加していますがSDG sを意識したコスメ回収や下水道展など環境を考えたイベントが引き続き増えています。従業員も増え、すべての項目において使用量が増加していますがその分、没案件も含め環境に優しい企画提案がいくつかできていたように思います。環境関連イベントの受注は成果を上げています。来期より、ホームページのリニューアルが完了するので新規の発注等、期待しています。環境経営目標、活動計画及び実施体制に変更の必要性はありません。



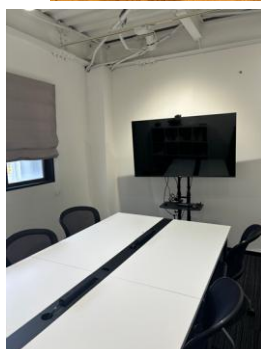
社内活動



*分別の徹底



*消火器の設置点検



*快適なりモートワーク設備



*防災用品の備蓄

